船橋市立八木が谷中学校

1　学力の状況と要因分析

1.1　全国学力・学習状況調査結果

表内の数値は、全国（公立）の平均正答率を 100 とした場合の相対値である。

教科		R8	R7	R6
国語	本校	88．0	92．1	91．2
	県	100．0	99．4	―
数学	本校	88．0	82．8	97．1
	県	100．0	97．3	―

1.2　生徒質問調査結果

表内の数値は、県平均値の計算を基に算出した偏差値である。

項目	R8	R7	R6
主体的・対話的で深い学び	46．6	49．4	49．2
主体的な学習の調整	48．7	48．8	48．9
国語に関する意識	46．2	51．0	50．7
国語の学習活動	44．6	49．6	50．8
数学に関する意識	48．5	48．4	49．1
数学の学習活動	47．5	47．3	48．3

2　本校の状況と分析

生徒質問調査の結果から、国語・数学共に低い結果である。どちらも楽しい授業づくりに向けて、授業改善を考え、関心を高めることからだと考える。解答の結果を分析すると、記述の問題が解けていない。意識の向上に向けて、家庭と連携し、学校と家庭で学習の習慣作りに重点を置いていく。

3　今後の取り組み

勉強が楽しいと思えるような環境づくりを目指していく。そのためには、学習の習慣作りができるような教育課程から教科横断的な学習につながるような取り組みを考えていく。まずは、授業の配分を工夫し、演習の時間を多くとり、生徒が自ら学習を調整できるような個別最適な学びの時間と協動的な学びの時間の中で一体的な充実を目指していく。